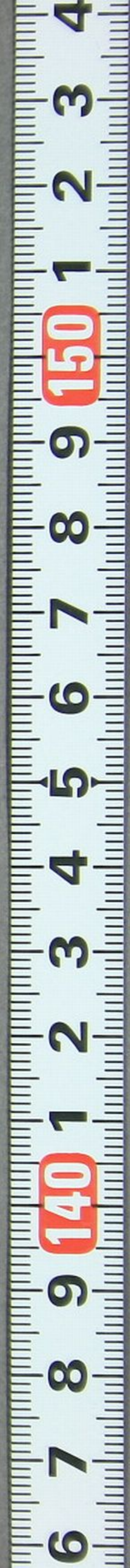
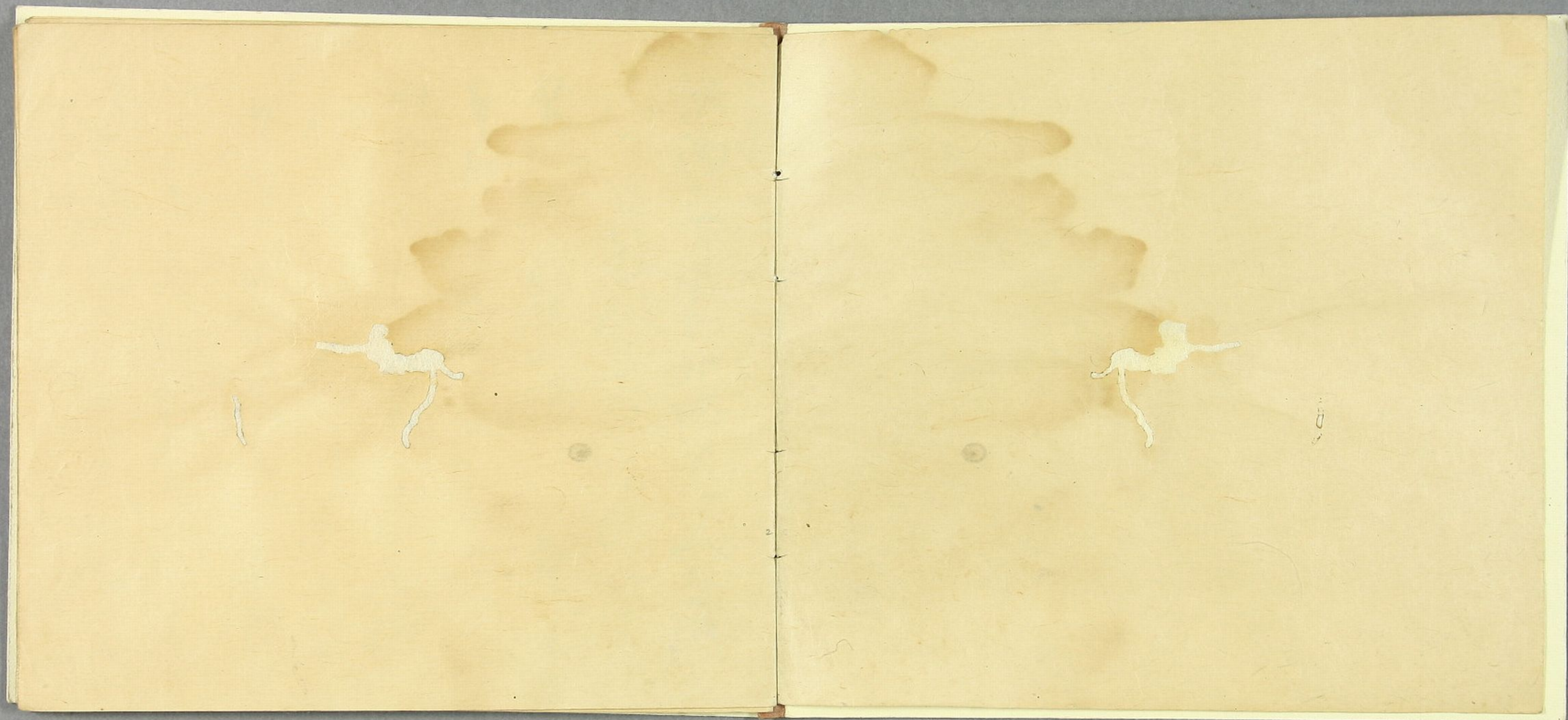


服部文庫
イ 17
2088



117 特
2088





洛陽三月五日如佛也
のこりてふたつと
世のついでに
まじりてふたつと
かきかへてふたつと
かきかへてふたつと
かきかへてふたつと
かきかへてふたつと
かきかへてふたつと
かきかへてふたつと

る

柳

し

板

は

木

は

は

方

は

は

は

は

は

は

は

は

は

あまのこころをいかに
かきとめておくれ

夕べの月をいかに
かきとめておくれ

雲の影をいかに
かきとめておくれ

白く梅の枝をいかに
かきとめておくれ

いかに

鞠の場をいかに
かきとめておくれ

白く梅の枝をいかに
かきとめておくれ

金川殿

あまのこころをいかに
かきとめておくれ

夕べの月をいかに
かきとめておくれ

雲の影をいかに
かきとめておくれ

白く梅の枝をいかに
かきとめておくれ

いかに

あまのこころをいかに
かきとめておくれ

夕べの月をいかに
かきとめておくれ

雲の影をいかに
かきとめておくれ

いかに

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'H' and ending with a signature 'H. J. K. 1787'.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'H' and ending with a signature 'H. J. K. 1787'.

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

花の

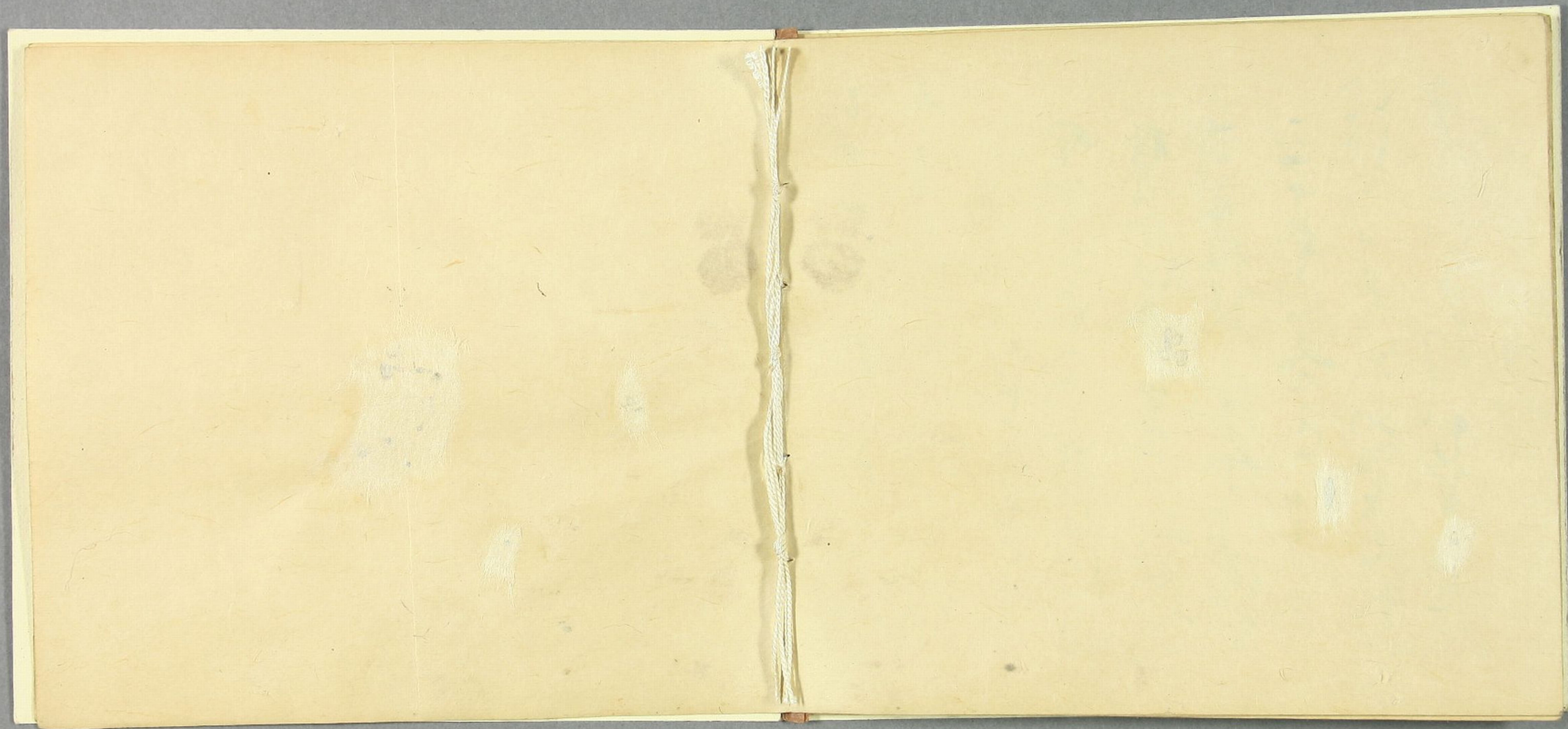
花の

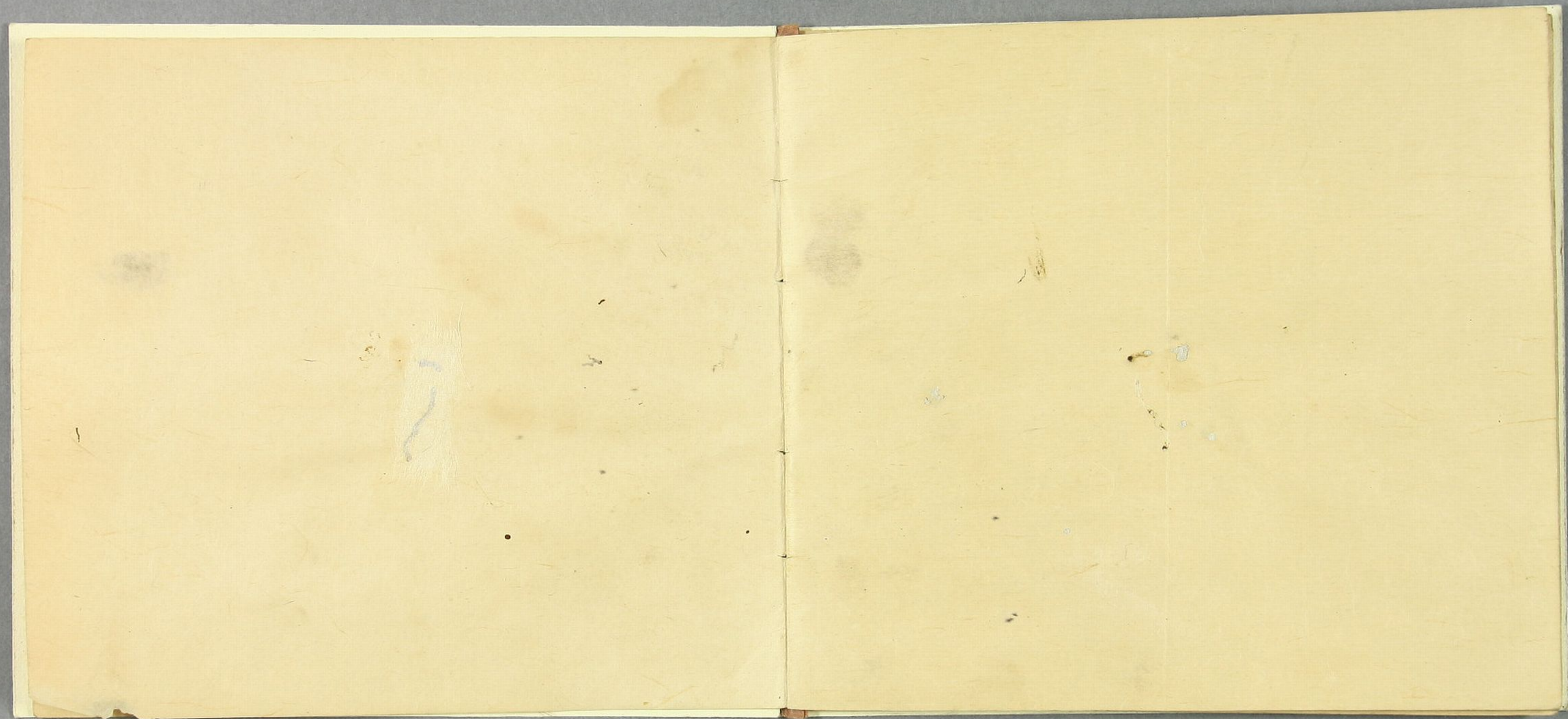
花の

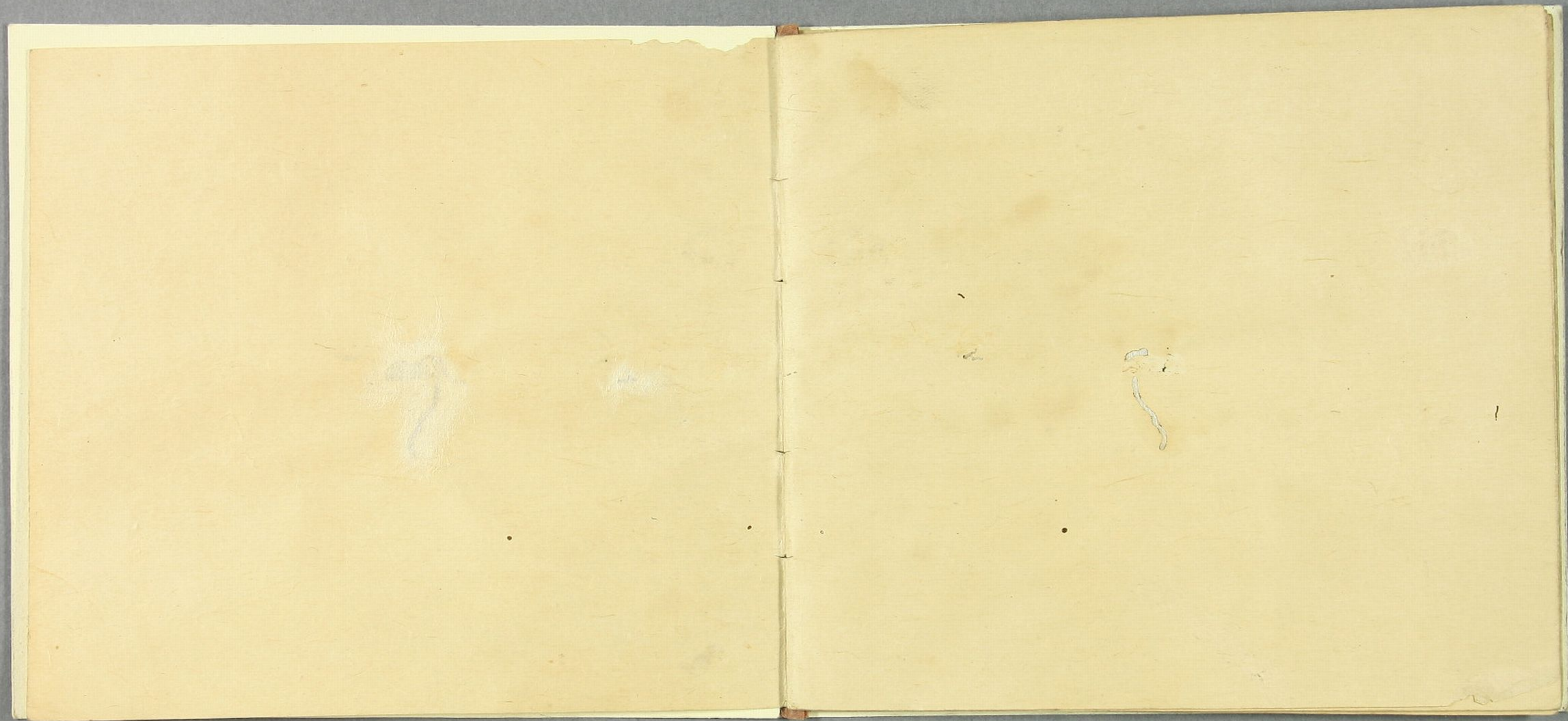
花の

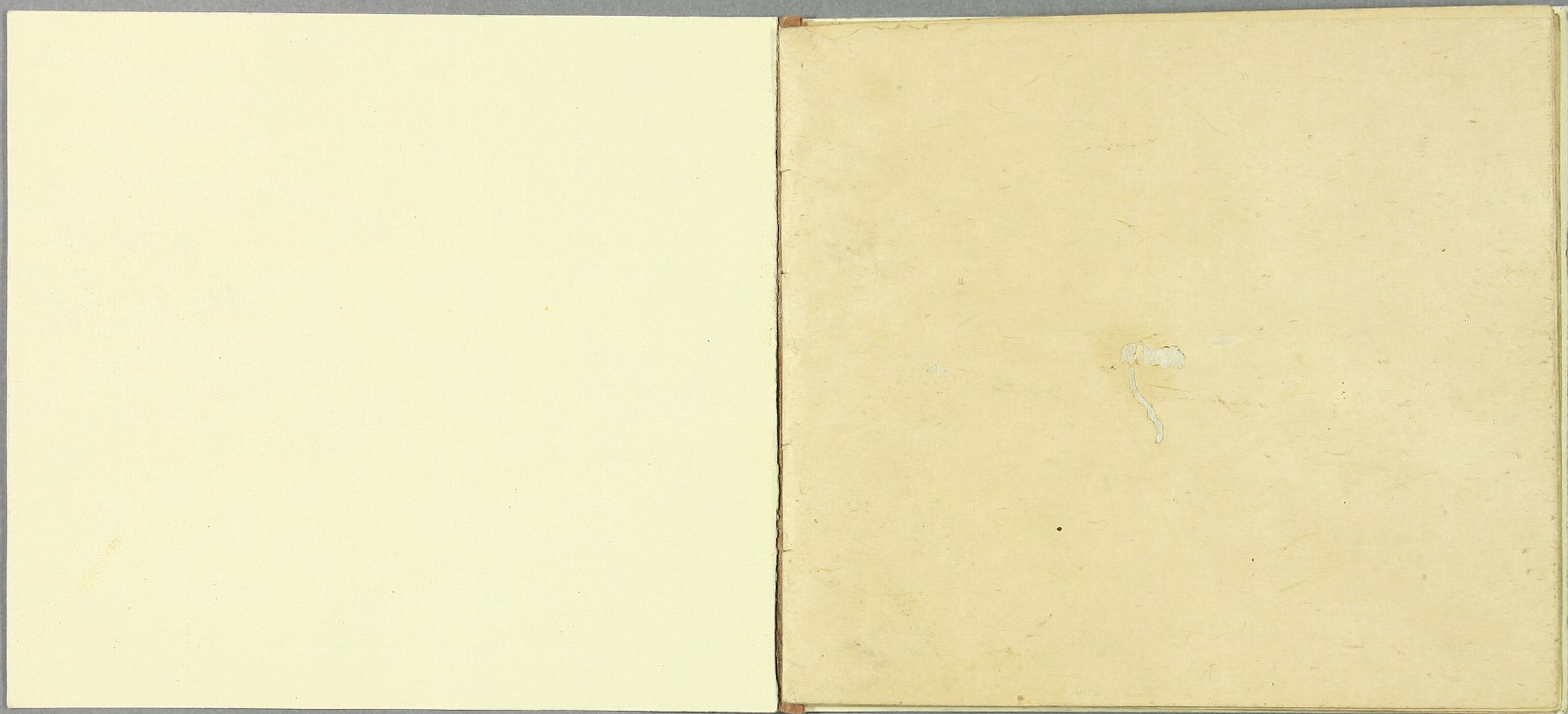
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も

花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も
花の香も風も
水も月も













江戸下町三丁目五番地

文能様
吉野の記
教





縮地紙巻冊

百枚之内

